

教え子を再び戦場に送るな！

大阪維新プログラム案は 大阪府解体・解消への道

府民的・国民的な運動を さらに広げよう！

35人学級は存続
「署名って、効果あるんだ！」

4月のプロジェクトPTA案発表以来、教育・福祉、安全、文化の切り捨てに反対する府民の運動が短期間にかつてない規模で広がりました。35人学級などをもとめるPTA署名は105万をこえて提出。国際児童文学館やセンチリー交響楽団存続、府施設存続を求め署名は200万をこえて集められています。

こうした府民の世論を受けて、35人学級存続や救命救急センターなど一部継続した施策があるものの、6月5日発表した「大阪維新プログラム案」は引き続き開発を続け、府職員の人員費大幅削減や府民の生活・くらしに激痛をもたらすものになっています。

ぜひ、
ご参加
ください

5月に短期間のうちにとりくまれたPTA署名。教職員の中からも、あらためて「署名って、効果があるんですね！」という声があがっています。

声を広げよう！

●「維新プログラム」(案)撤回

府民・労働者総決起集会

6月20日(金) 19時

南天満公園

主催：大阪労連 府労組連

●くらし・文化を考える豊中のつどい

6月21日(土) 18時45分

ローズ文化ホール

○講演 中山徹さん(奈良女子大)

○訴えと小演奏

大阪センチリー交 響楽団有志

○特別報告 ワツハ上方館長

伊東雄三さん

主催 橋下知事にももの申す会

全教

2008年6月18日
NO. 420

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Webページ

http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/

とよなか

全教豊中教職員組合

いったい何なの？ 教員免許の更新制度

Q & A

教員免許制度が導入されました。これから、どうなる？といった不安の声も聞かれます。まだ、具体的な内容については明らかではありませんが、いくつかの疑問に答えます。

講習を受けないと免許は効力を失なうということになっていきます。

講習はいつ受けるのですか。

なぜ免許更新制度が導入されたのですか。

現職の方は、35歳 45歳、55歳の年度末が期限とされています。その2年前から受講することになっていきます。

教育基本法改悪の具体化として、昨年、安倍前内閣が教員を権力へ隷従させるために十年という年限を設けたのです。校長・教頭等の管理職や指導主事を対象から外していることからその反動性は明らかです、

講習の場所や内容はどのようになっていくのですか。

講習を受けないとどうなるのですか。

大学や教育委員会が行う30時間（教育の最新事情12時間、教科・生徒指導等18時間）の講習を受けることとなっています。

腹立たしい限りですが、

時期や費用はどうなるのですか。

主に夏休み等の長期休業中に行われることとなりそうです。

費用やその負担については未定ですが、個人負担であつてはいけません。教育委員会が無料ですべきです。

全教豊中は免許更新制についてどう考えていますか。

教育にたずさわる者には、創造性、根気、努力、自己研鑽が求められます。よい教育を行うために、教員は安定した生活が保障されなければなりません。

そもそも、十年という「有期雇用」ともいうべき今回の改悪はどうてい容認できません。

今回の更新制度が「不適格教員」「指導力不足教員」を口実にして、教育

委員会いいなり、文科省いいなりの教員づくりになつてはならないと考えます。

また、受講される先生方の負担や通常業務の妨げになるものであつてもならないと考えます。

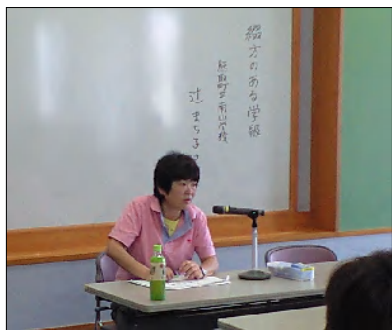
講習内容に不的確なものがないかどうかの検証も欠かせません。



パワーアップ講座 開催

綴り方のある学級

講師 辻 まち子さ



今年、2回目となるパワーアップ講座が6月7日(土)に豊中・すてっぷで開かれました。予定していた土佐いく子さんが急にこれなくなり、講師が交代するとうちででしたが、参加者は講

師の辻まち子さんの綴り方を通して、あたたかい学級集団づくりを学びました。

参加者からの感想

○「教室に文化を」すてきな言葉ですね。私も作文や詩を読み合うことで、心の温かくなる教室をつくっていききたいです。」
○「先生の温かさについてひきこまれてしまいました。淡々と話される中に、先生の強さ、やさしさが伝わってきて、私が子どもなら、こんな先生にもつもらいたいなあと思いました。辻先生みたいな先生になれるよう 綴り方を通して、わたしもがんばっていききたいです。」

次回のパワーアップ講座は
10月25日 算数

講師 何森 真人さん
(岸和田市立教員)

第一一九回定期大会を開催

教育、くらしを守る府民・国民の運動を！
全教を大きくし、職場の共同をすすめよう

全教豊中教組は、6月14日にくらし館において、定期大会を開催しました。池田委員長(一中)あいさつの後、西山書記長(熊野田)の07年度総括と08年度の運動方針が提案され、原案通り採択されました。

大会では次のような発言がされました。「評価育成システム」についての問題と職場づくり、橋下行革問題、海外日本人学校での教育経験からみた日本の教育と子ども、豊中教職員9条の会での活動。

大会ではこの間、組合に加入した新組合員を紹介しました。新任2年目の組合員が、「全教に入って、いろんなことが勉強できた。もっと、勉強していきたい。」

若い人を全教にさそっていきましよう。」と一言感想を述べました。
大会後、場所を移しての歓送迎会には、退職者や若い組合員も集って、なごやかに過ごしました。



私たちのまはら 豊中の歴史

地名が語るら

「松ヶ枝」
高市

光男（元豊中市・校長）

正確に言えば松ヶ枝通である。何か三味線で奏でられる歌のようだが、ご存知の方はありますか？。

明治43年（一九一〇）箕面有馬電気軌道（阪急電鉄）が開通し、電鉄会社が恒常的な乗客確保のため沿線開発に乗り出す。

豊中台地は大阪に近いという利便性、台地のため水の便がよくないので田になりにくく、雑木林や畑が多く地価が安かったということもあり、大規模開発にとつて好立地であった。

先づ「豊中グラウンド」を造り、高校野球の発祥地となった。その他のスポーツ大会がおこなわれた。

大正3年（一九一四）豊中駅からグラウンドまでの五万坪に高級住宅地を開発。通りに相生通・栄通・小松通・本通・梅ヶ枝通・南通・春日通・吉野通・若松通・

橋通・松ヶ枝通と名づけた。大正9年には新屋敷住宅が、その南側四万坪を開発し、常盤通・松葉通・若葉通・千歳通・高砂通と名づけた。

また、岡町住宅は岡町駅を起点にして七万五千坪を開発、広荘な屋敷を分譲した。ここでは、宝通・錦通・桜通・松原通・寿通・幸通などの地名がつけられた。ほとんどの地名はインテリや金持ちが好きそうな、

客を呼び込む地名で、地名のなりたちから言えば「瑞称地名」（めでたい地名）である。これ等は開発者のつけた地名で、行政の定めた地名ではなかった。昭和17年に晴れて豊中市公認の地名となった。（それまでは正式には大字新免〇〇番地というように番地を使っていた）

昭和29年、全市的な町名・住居表示の改正により、玉井町・末広町・立花町・岡町北町・岡町南町に変わった。出来て30年、市の地名となつて10年余というように、ごく短命な地名だった。

大規模に開発された地の瑞称地名が行政の地名として今を生きているのは、清風荘・千里園・永楽荘、栗ヶ丘・旭ヶ丘など、行政の地名と開発地名とが併存している松景園・豊陽園（服部）もある。



日本通り玉井町に残る屋敷45年のアメリカの空襲によりほとんどの屋敷が壊滅した。